

研究テーマ名	七宝工程の効率化に関する調査研究 (瑞宝章・旭日章への七宝自動盛り)
研究内容抄録	<p>勲章製造量の79%を占める瑞宝章の中綬章、小綬章、双光章、単光章をターゲットに製造コストの削減を目的として、七宝盛付作業の自動化に取り組んでおり、これまでに章身及び連珠については実用化されている。今年度は、紐章について自動化を目指すにあたり、比較的面積の広い葉の部分と非常に溝幅の狭い枝の部分をできるだけ釉薬の吐出が途切れないように盛り付けること、また通常3盛りを2盛りで仕上げることを課題に取り組んだ。葉と枝をそれぞれ3つのブロックに分け、葉と枝を交互に盛り付け吐出量を最適化したことで盛付量の過不足を抑制し、小綬章の葉と枝の白釉薬自動盛付プログラムを確立できた。</p>
学会発表	—